

立花北生涯学習プラザ たちばなの寺子屋 第5回

なぜ大垣は『奥の細道』の旅の むすびの地になったのか？

第5回のテーマは、松尾芭蕉です。

大垣市は、松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を終えたむすびの地として知られています。では、なぜ大垣がむすびの地となったのでしょうか。その答えを大垣の歴史や文化から探してみたいと思います。大垣と尼崎もかかわりがあるようです。みなさんと一緒に松尾芭蕉について学びましょう。



講師プロフィール

大垣市教育委員会 文化振興課
芸術・俳句文化推進グループ

学芸員 上嶋 康裕 氏

岐阜県大垣市出身。

名古屋大学大学院を修了し、豊田市資料調査会専門員を経て
平成29年4月より、大垣市奥の細道むすびの地記念館学芸員として勤務

日時：2月17日（金） 午後1時30分～午後3時

会場：尼崎市立立花北生涯学習プラザ 2階学習室 1・2

（塚口町3丁目39-7）

対象：どなたでも 先着30人 受講料：1,000円

申込先：尼崎市立立花北生涯学習プラザ

※ 電話または、メールで申し込みください。受付締切は、2月15日（水）です。
定員になり次第締め切ります。

電話：06-6422-6741 FAX：06-6422-8533

Eメール：info@tachibanakita-plaza.com

「たちばなの寺子屋」は、立花北・立花南の生涯学習プラザの指定管理者（株）ハウズビルシステムと尼崎市立花地域課が連携し企画した教養・文化講座です。

※ コロナ感染症予防に配慮し開催しております。マスク着用と手指消毒のご協力をお願いいたします。
また、コロナ感染症の状況により、内容を変更、中止する場合があります。ご了承のうえご参加ください。

共催：（株）ハウズビルシステム・尼崎市立花地域課